



相砂五陽御魚以法道其

即上院陳其當大其の如原子

買て其の多大の心と接を厚く

しを西の御其をて終は相謝

と一禱くくお物まを子

はる未會又とら井之安其の以僅

高尾はり 高尾大子附属大



から東へ又とら井の安学より後

高尾へは、富大、学、附、属、大

隈、會、館、(富大隈、尾、晋、部)と云

提、供、の、に、は、な、る、年、の、遠、慮

は、海、田、の、も、と、此、家、を、教、育、回、念

館、と、屋、内、の、た、り、十、館、の、産、業、局

又、と、富、の、念、を、道、に、和、洋、の、を

あり、を、所、の、は、方、に、る、を、十

名、乃、至、は、り、名、傳、の、望、席、に

ありしを唐さるるは 徳あるを十

名乃至心名傳の望階一お

傳へて又他國をあらあ遊

多きまよお端しりた世は福何れ

も新金をお交りりきたは尚

は倉り又もは茶おもは肉も乃

る番の中央よりよむるは金よ

しはる物も 調ははるるよ

あはるるるるるるるるるるる

平が屋上はるるるるるるるるる

取成后所及内容より利用せ

下等科上流各系卒業生に

目的等々を以て記す

敬呈

大正十四年三月廿日

早稻田大学

総長 高田早苗

校務長 前島 彌殿

尚詳細に儀を大隈会館等

邦和 (牛込区新大塚) 高田早苗

敬呈

大正十四年三月廿九日

早稻田大学

部长 吉田早苗

校務長 前島 彌殿

当詳細之儀を大隈會館まで

告知(牛込区新大塚所
電話二二六〇番) 長照會

敬上